



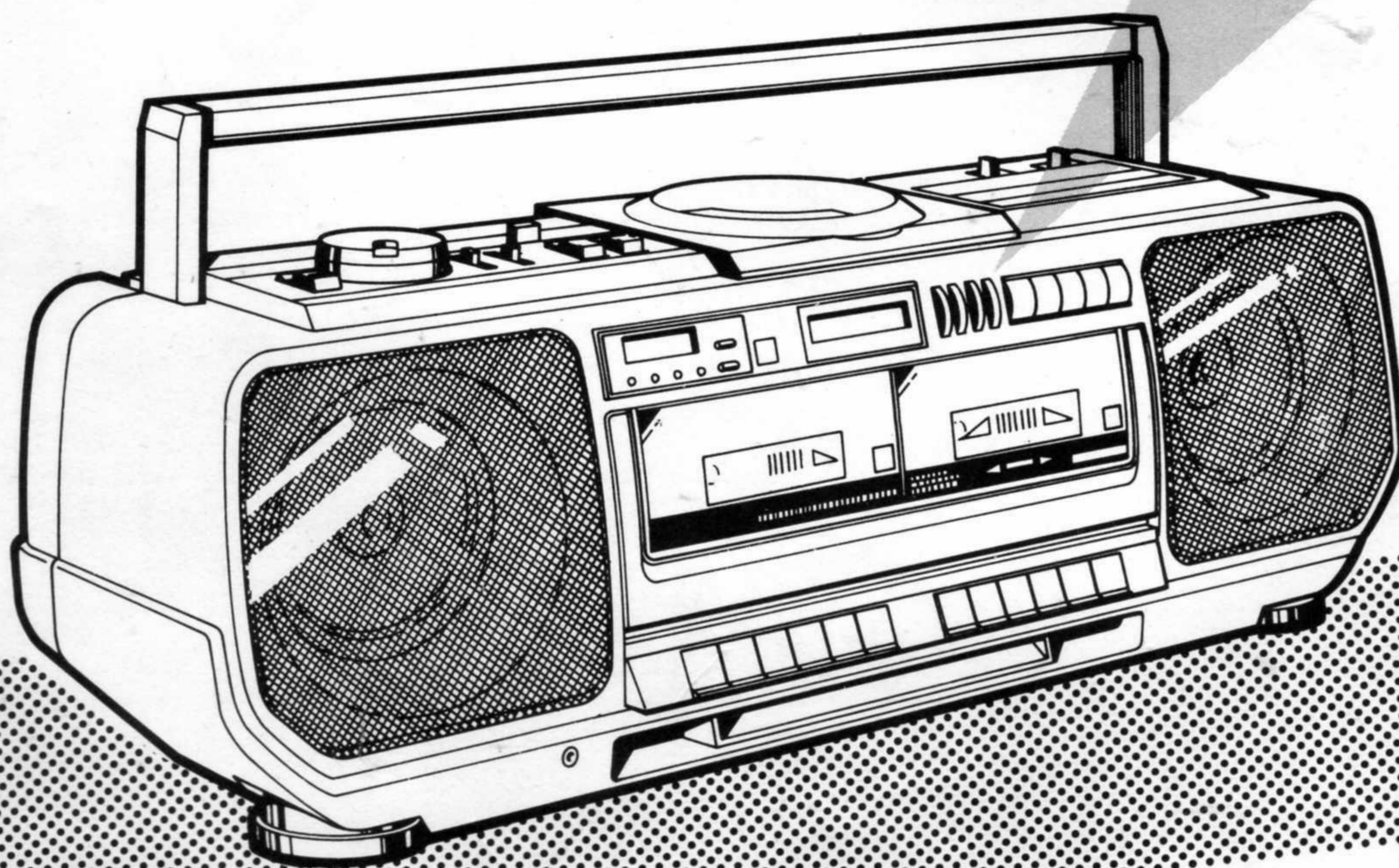
CROWN®

# CD-6000

Three Dimensional stereo system

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、  
必ず保存してください。



クラウン コンパクトディスクステレオカセットレコーダー

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

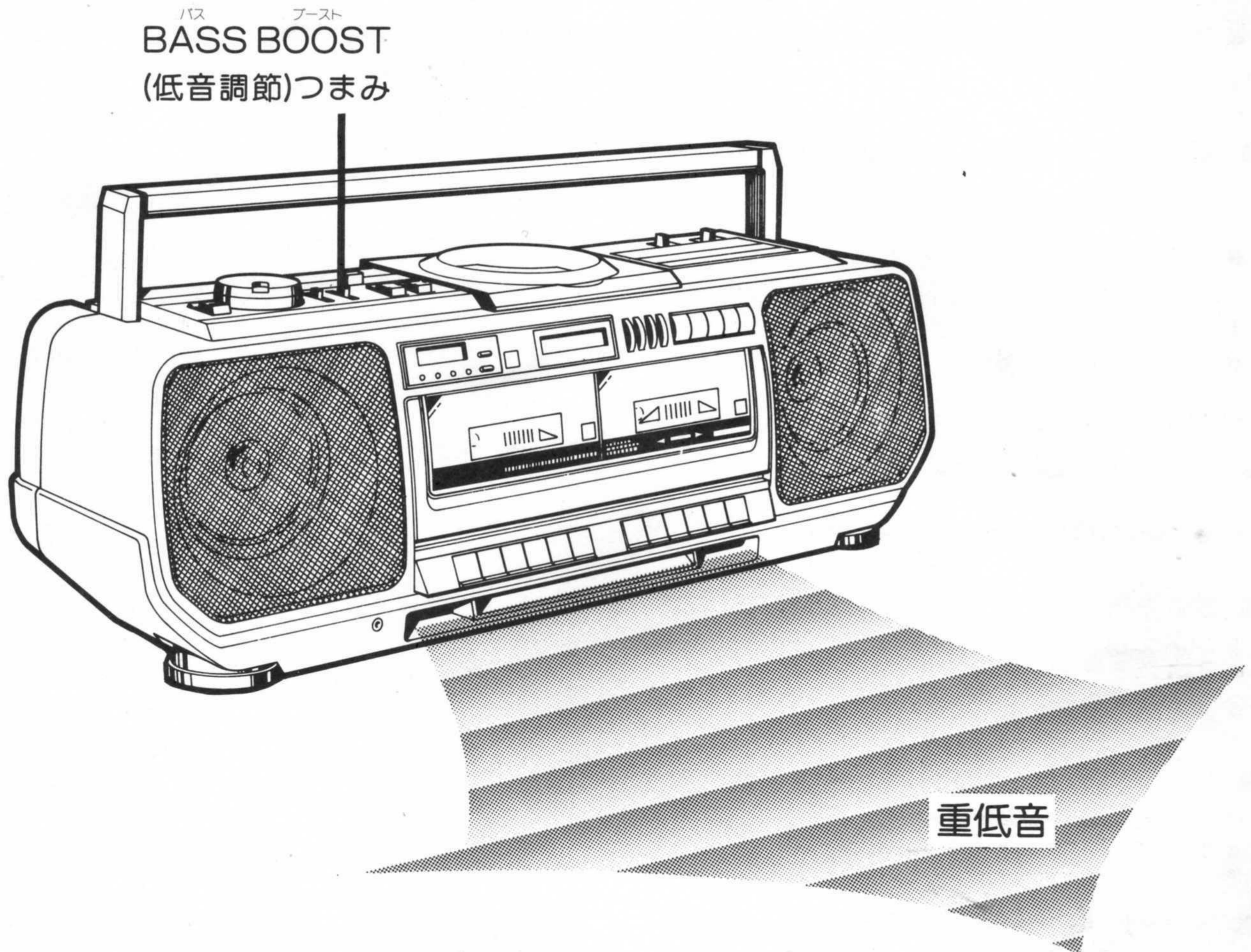
## 目 次

■ 3Dステレオシステムとは .....	3
■ 主な特長 .....	4
■ 安全上のご注意 .....	4
■ 取扱い上のご注意 .....	5
■ 各部の名称と働き .....	6
■ 電源について .....	8
■ 時計を合わせる .....	9
■ CD を聞く .....	10
● 聞きたい曲を聞く .....	11
● 好きな曲を好きな順に聞く .....	12
● くり返し曲を聞く .....	13
■ カセットテープについて .....	14
■ テープを聞く .....	15
● 2本のテープを続けて聞く .....	16
■ ラジオ, テレビ放送を聞く .....	17
■ 録音する(デッキ 1) .....	18
● CDを録音する(デッキ1) .....	18
● テープをダビングする .....	19
● ラジオ, テレビの音声を録音する .....	20
● マイク録音する(デッキ1) .....	21
● 著作権について .....	21
■ リモコンをお使いになる前に .....	22
■ リモコンを使う .....	23
■ タイマー機能を使う .....	24
■ スリープ機能を使う .....	25
■ お手入れのしかた .....	26
■ 故障かな? ... と思う前に .....	27
■ 保証書とアフターサービス .....	27
■ 主な仕様 .....	28

# 3Dステレオシステムとは

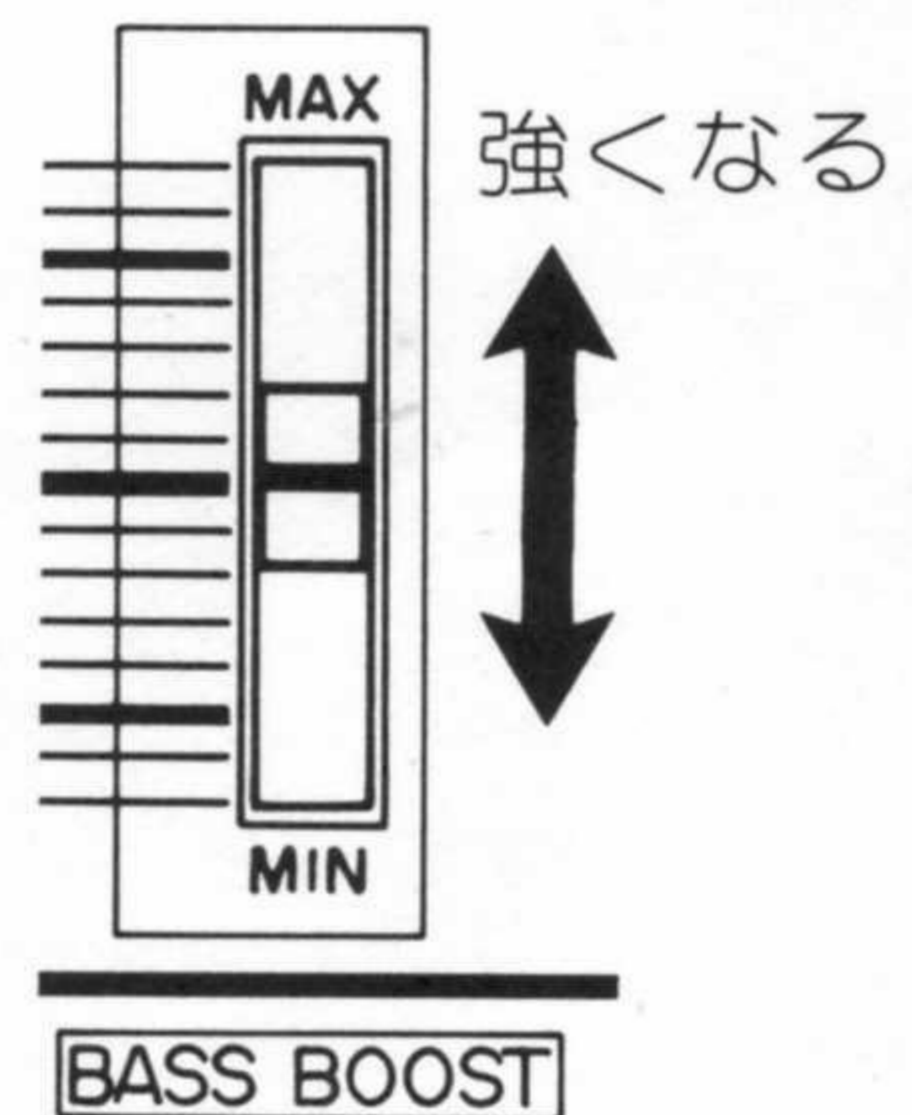
## ■ 3D方式 (Three Dimensional stereo system)

3D方式とは、人間の聴覚が低音に対して方向感覚が鈍いことを利用したスピーカーシステムで、左右のチャンネルの低音をモノラルにして中央に置いたスピーカーで効率よく再生し、中・高音は左右それぞれのチャンネルのスピーカーで再生する方式のことです。



### ●「BASS BOOST」とは

通常のスピーカーの他に低音域用のスーパーウーハーと共鳴部ハイパワーアンプにより迫力ある重低音の再生を可能にした方式です。BASS BOOST LEVELつまみを“MAX”位置に調節するとスーパーウーハーがより力を発揮します。



# 主な特長

## ■ CDプレーヤーを搭載したCDカセットレコーダーシステム

- 20曲ランダムプログラム演奏・リピート演奏機能を搭載したCDプレーヤー
- 演奏時間や演奏曲番をデジタル表示する液晶ディスプレイ
- 8cm CDシングル対応

## ■ 録音・再生 (デッキ1)+再生 (デッキ2)のダブルメカニズム

- 音質の良いメタルテープの再生が可能(デッキ2)
- シンクロスタートダビング機能 (定速/倍速)
- 連続再生 (デッキ2→デッキ1)
- オートリバース機構メカニズム (デッキ2)
- フルオートストップメカニズム (デッキ1)

## ■ タイマー/クロック機能

- 留守録音・目覚し再生・スリープ機能

## ■ 重低音用スピーカーを搭載した3Dステレオシステム

- 迫力ある低音が楽しめます。

## ■ VHF・FM・AM 3バンドチューナー搭載

- 1~12チャンネルのテレビ放送対応

## ■ リモート・コントロールが可能

- CDプレーヤーの操作と音量のコントロールが出来ます。

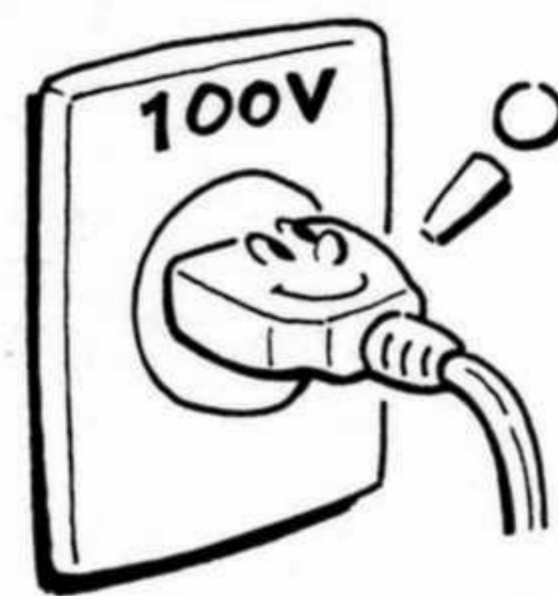
### ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 安全上のご注意

## ■ 電源について

- 本機をAC電源でお使いになるときは、家庭用コンセント(AC100V)につないでお使いください。電源周波数は50HZまたは60HZのどちらの地域でもそのまま使用できます。
- 長時間使用しないときは…  
ご旅行などで長い間ご使用にならないときは電源コードをコンセントから抜いておいてください。



## ■ 電源コード・プラグの取扱い

- 電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ったりぬれた手でさわるとショートや感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。
- 電源コードの継ぎ足しは、火災や感電の原因になります。電源コードやプラグの修理は販売店にご依頼ください。



## ■ 外国での使用は…

- 本機は日本国内用ですので電源電圧・電源周波数の異なる外国では使用できません。

## ■ セットの内部に触れることは、危険なうえ故障の原因となります。

- 内部の点検・調整は販売店にお任せください。



# 取扱い上のご注意

## ■ 使用(設置)場所の環境について

- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。



湿気やほこりの多い所。



直射日光が当る所や暖房器のそば。



アンプやテレビのすぐそば。  
不安定な所。



極端に寒い所。



磁気の発生する所。  
振動の激しい所。



寒い所から急に暖かい部屋  
への移動。

- 炎天下の自動車内は…  
真夏の自動車内は長時間の直射日光により車内温度が80°Cをこえることがあります。長時間直射日光の当る場所に放置しないでください。



## ■ ヘッドホンについて

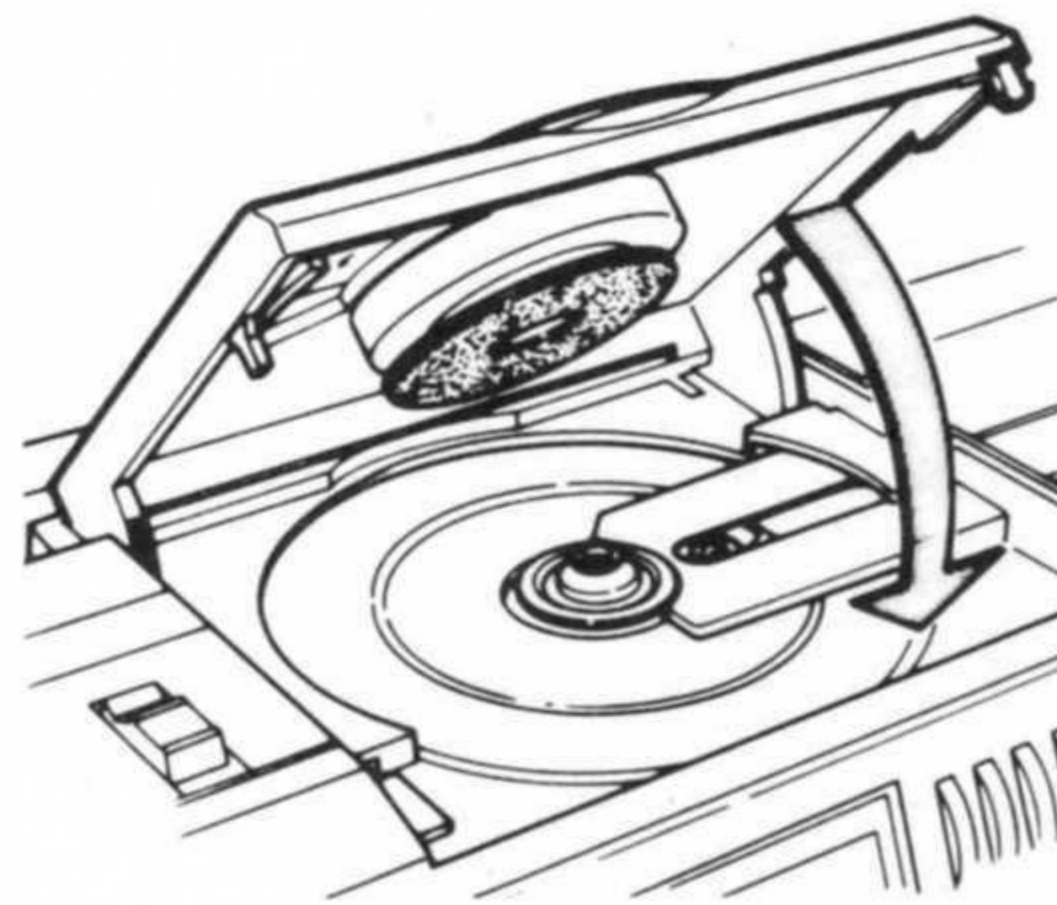
- ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。
- 交通安全のため、自動車などを運転中はご使用にならないでください。

## ■ その他

- ロッドアンテナを立てたまま、ハンドルを持ち上げたり、倒したりしないようご注意ください。アンテナがこわれることがあります。

## ■ ほこりにご注意ください

CDプレーヤーのレンズにはほこりが付かないようにCDプレーヤーカバーは必ず閉じておいてください。またレンズには手を触れないでください。



## ■ 露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露(水滴)が付いてCDプレーヤーが正しく演奏できないことがあります。

- 暖房を始めた直後の部屋
  - 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
  - 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- 電源を入れ、約1~2時間待ってからお使いください。

## ■ 音量にご注意

コンパクトディスクはアナログレコードに比べ非常にノイズが少なくなっています。従来のようにノイズを聞きながらアンプの音量を調節しておく、思わぬ大出力が出て、スピーカーを破損する恐れがあります。あらかじめ音量は絞っておき、演奏が始まってから適度な音量に合わせてください。

## ■ 安全装置について

本機にはCDプレーヤーカバー(ふた)と連動してレーザー光をON-OFFさせる安全装置がついており、CDプレーヤーカバーを開けるとレーザー光が自動的に止まる仕組みになっています。

## ■ テープ等は近づけないで

録音済みのカセットテープやカードなどはCDプレーヤーカバーには近づけないでください。磁石を使用していますので大切な記録が消えてしまう場合があります。

## ■ 他のチューナーやテレビから離して

CDプレーヤーを演奏すると雑音や画像の乱れが生じることがあります。できるだけ離してお使いになるか、離してもだめなときは同時使用をさけてください。

# 各部の名称と働き

○内の数字のページに説明があります

**POWER (電源)/TIMERスイッチ** ⑳

- **TIMER** : タイマー機能を使うとき。
- **ON** : 通常に使うとき。(電源入)
- **OFF/SLEEP** : 電源を切るとき、又はスリープ機能を使うとき。

**BAND切換スイッチ** ㉑

- **AM**………AM放送を聞くとき
- **FM/TV1-3**…FM放送とテレビの1~3チャンネルの音声を聞くとき。
- **TV4-12**……テレビの4~12チャンネルの音声を聞くとき。

**DUBBING SPEED スイッチ** ㉒

- **HI-SPEED**
- **NORMAL**

**FM MODEスイッチ** ㉓

- **STEREO** 通常はこの位置
- **MONO** FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき。

**BASS BOOST**  
(低音調節)つまみ ㉔

**FUNCTIONスイッチ**

- **RADIO**
- **TAPE**
- **CD**  
(コンパクトディスク)

**TAPE切換スイッチ** ㉕

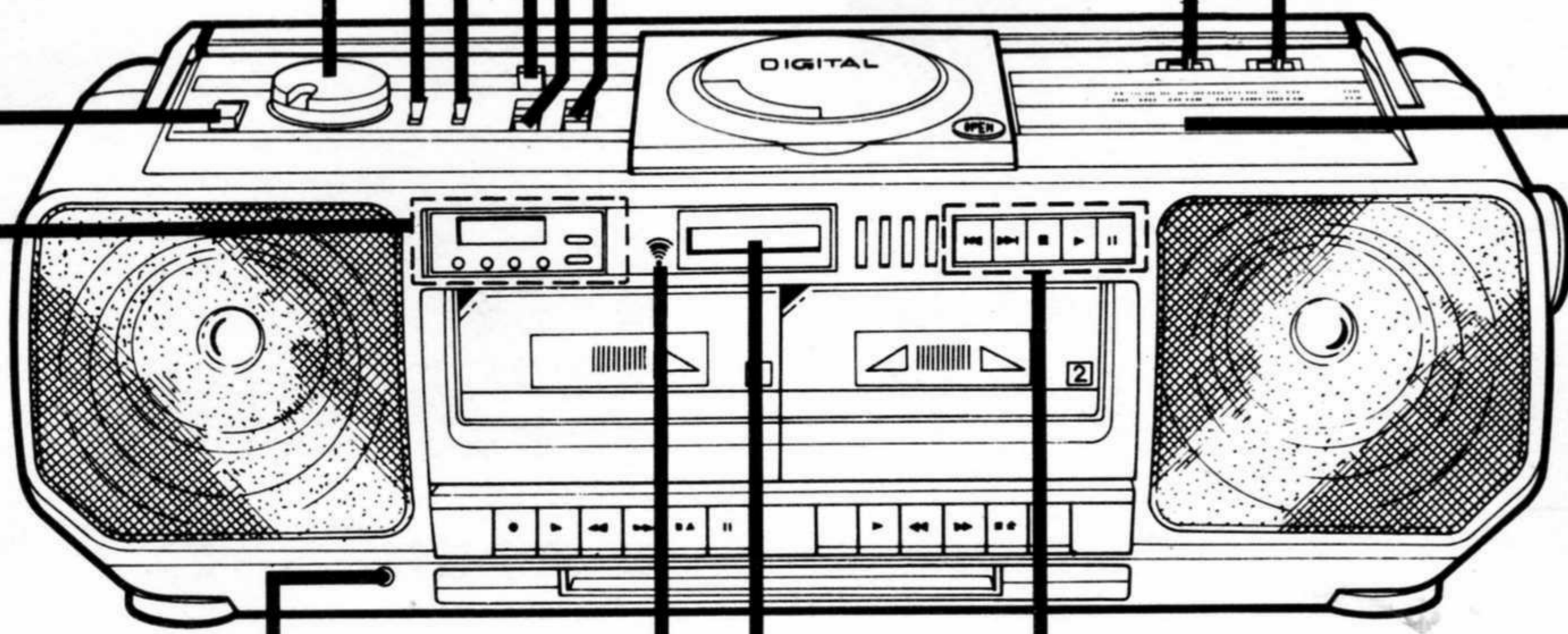
聞きたいテープの種類に合わせて切換えます。

**TONE (音質調節)つまみ**

**VOLUME (音量調節) つまみ**

ダイヤル指針

選局つまみ



**TIMER/CLOCK 操作部** ㉖

**CD表示窓 (CDマルチディスプレイ)**

**PHONES 端子 (Φ3.5ミニ)**  
ヘッドホンをつなぐとスピーカーの音は切れます。

リモコン受光部

**CD 操作ボタン** ㉗~㉚

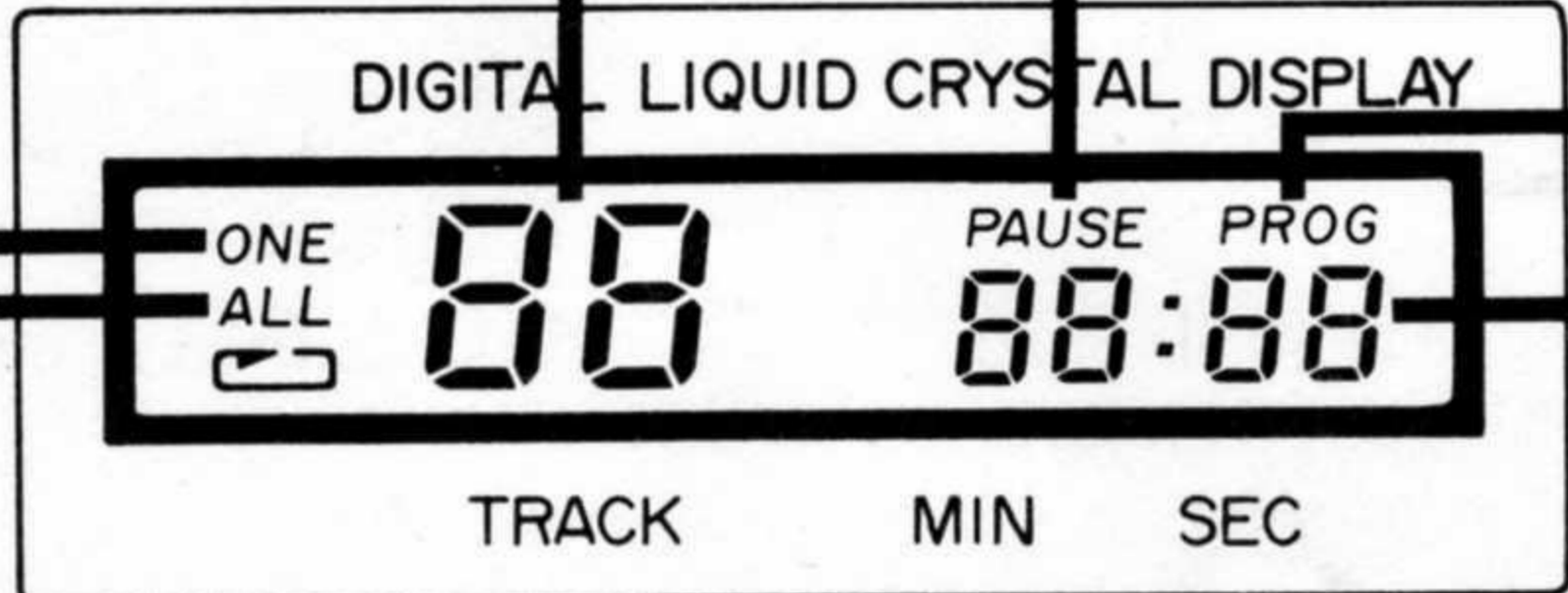
- **REPEAT** ……くり返し
- **ENTER** ……予約・確認
- **CLEAR** ……消去取り消し
- **PROGRAM** ……プログラム演奏
- **SKIP** (◀▶)…曲の頭出し、早送りと早戻し
- **STOP** (■)……停止
- **PLAY** (▶)……演奏開始
- **PAUSE** (⏸)……一時停止

**CD表示窓 (CDマルチディスプレイ)**

全曲数/トラック (曲番)表示

**ONE リpeat**  
(一曲くり返し)表示

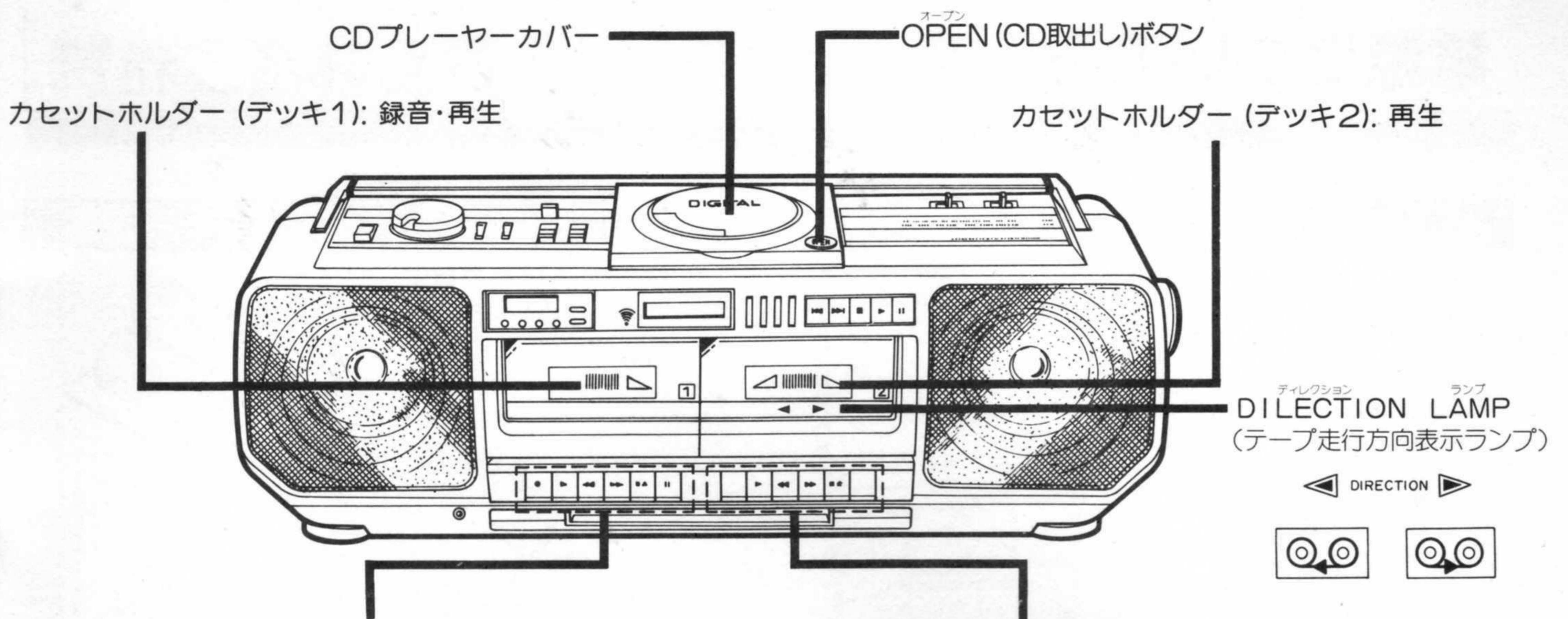
**ALL リpeat**  
(全曲くり返し)表示



**PAUSE** (一時停止)表示

**PROG** (プログラム)表示

全演奏時間/演奏順 (プログラム)表示



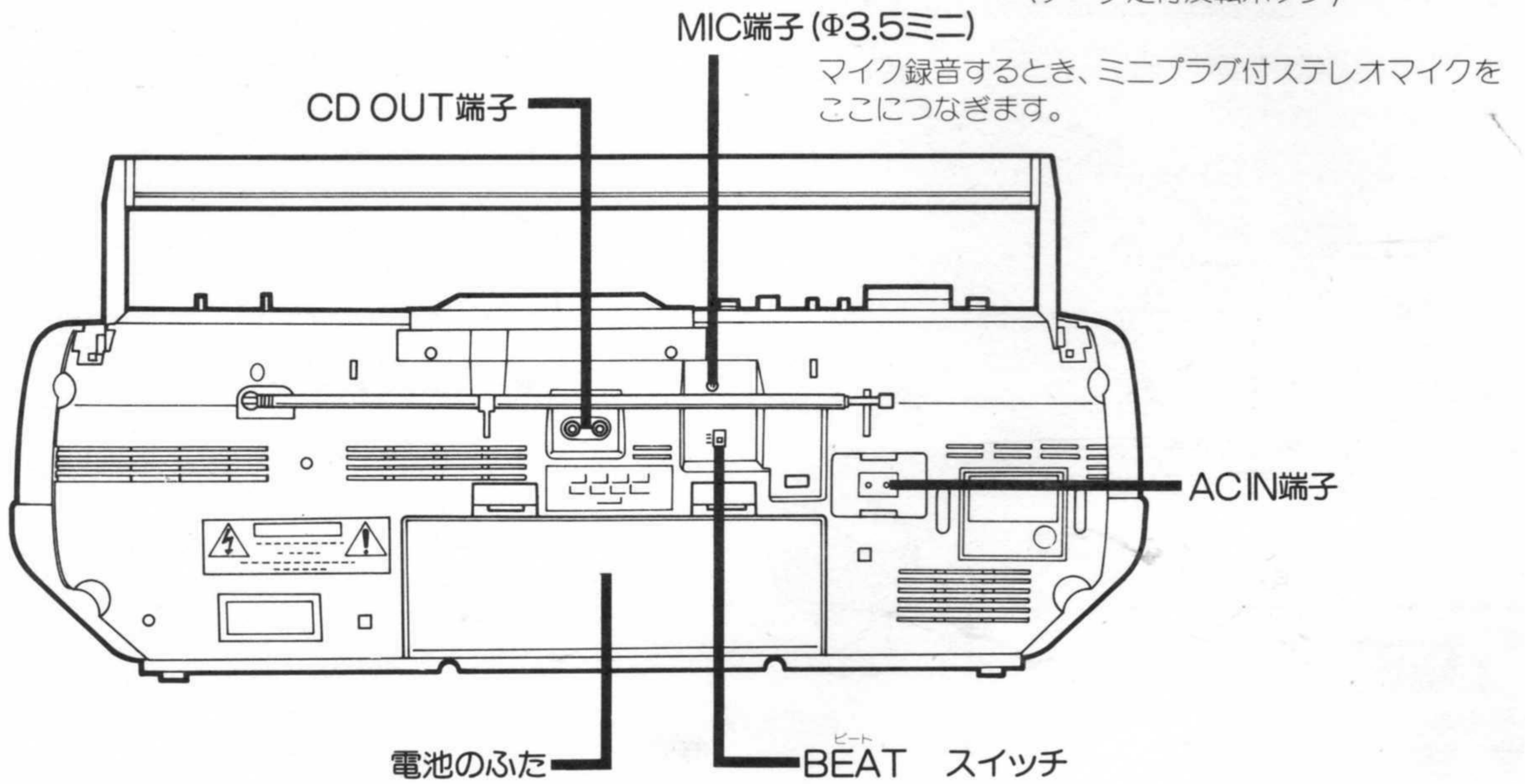
カセット操作ボタン (デッキ1)

- REC (●) …… 録音
- PLAY (▶) …… 再生
- REW (◀◀) …… 巻戻し
- F.FWD (▶▶) …… 早送り
- STOP/EJECT (■▲) …… 停止/取出し
- PAUSE (||) …… 一時停止

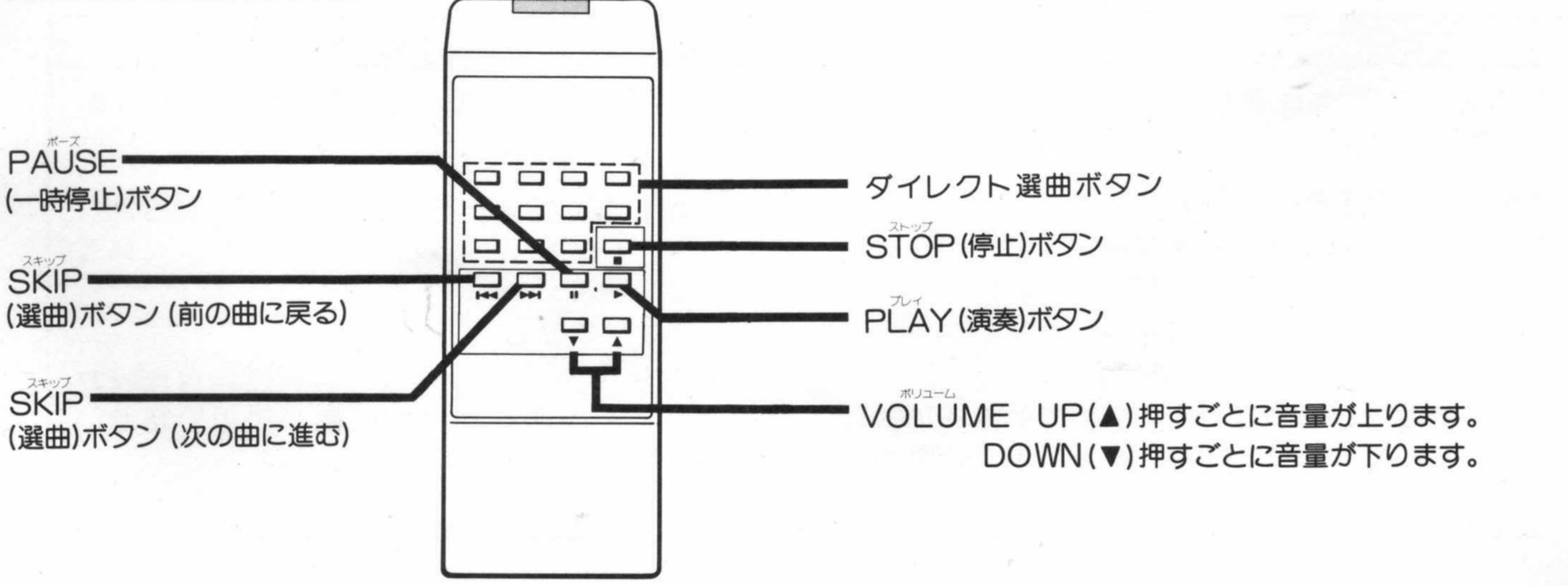
カセット操作ボタン (デッキ2)

- REPEAT・MODE (◀◀) …… くり返し
  - (▶▶) …… 一往復
  - PLAY (▶) …… 再生
  - REW (◀◀) …… 巻戻し
  - F.FWD (▶▶) …… 早送り
  - STOP/EJECT (■▲) …… 停止/取出し
  - DIRECTION (◀▶) …… 方向
- (テープ走行反転ボタン)

裏面



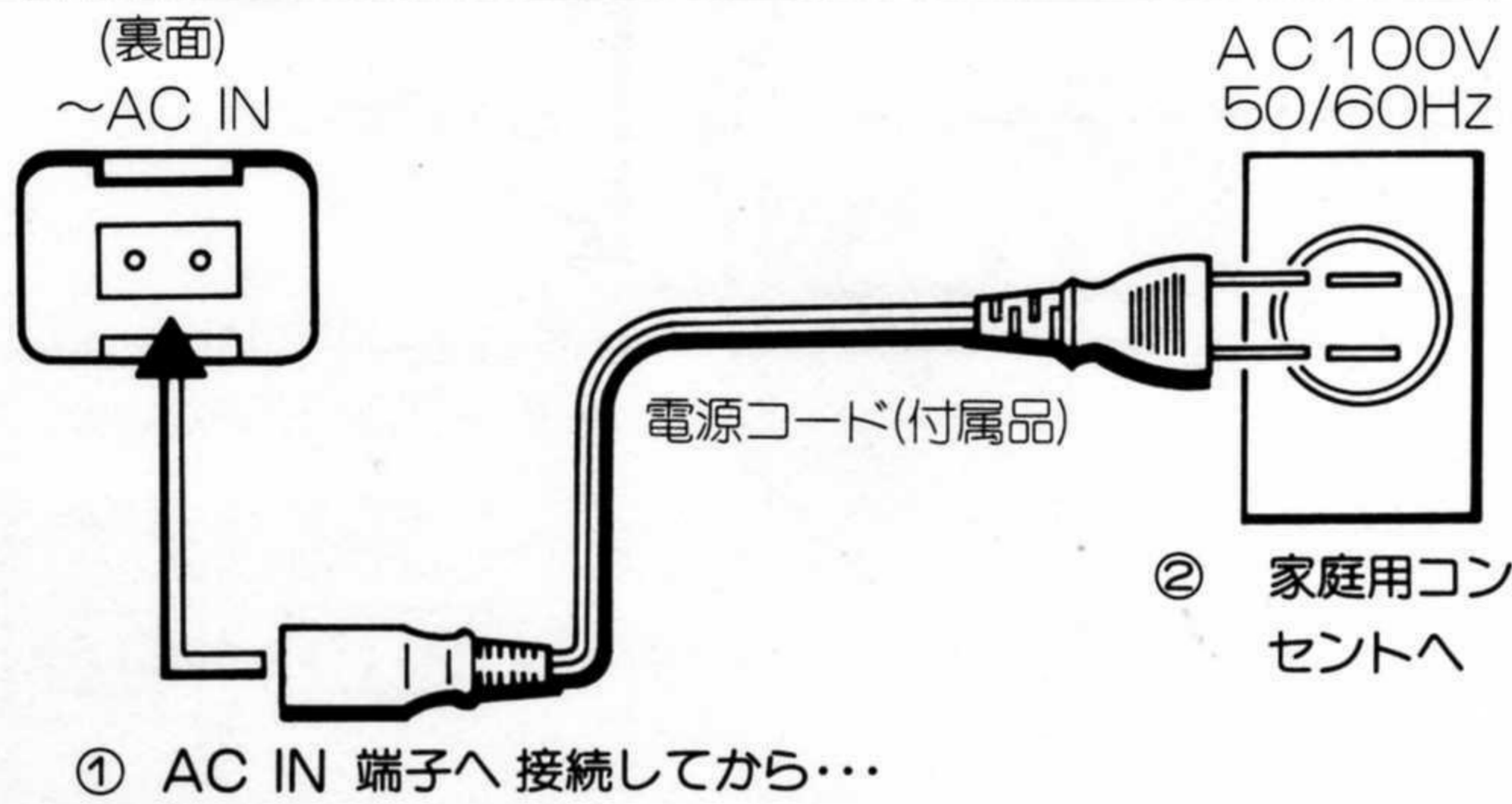
ワイヤレス・リモコン ⑳



# 電源について

電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れするときはPOWERを必ず「OFF」にしておいてください。

## A. 家庭用コンセントで使うには



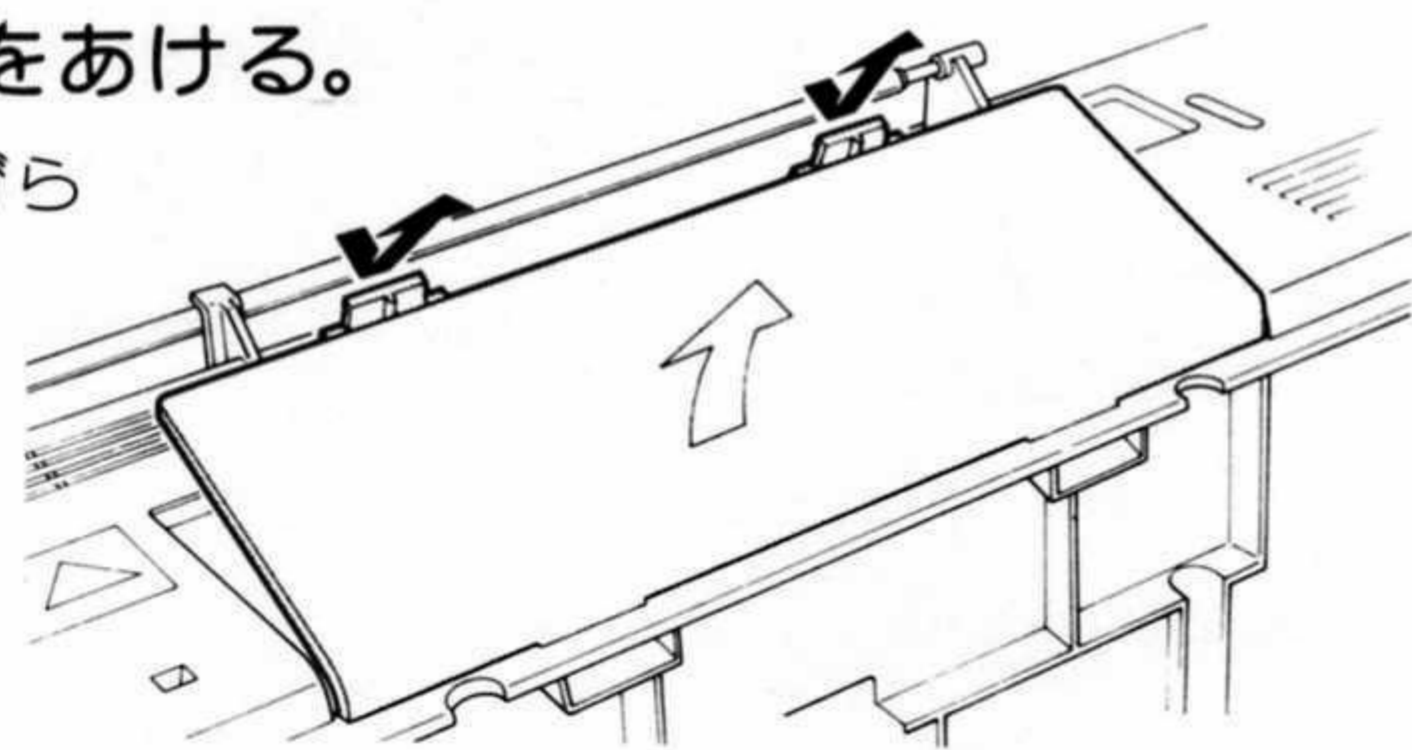
形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。

- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。

## B. タイマー/クロック用電池の入れかた

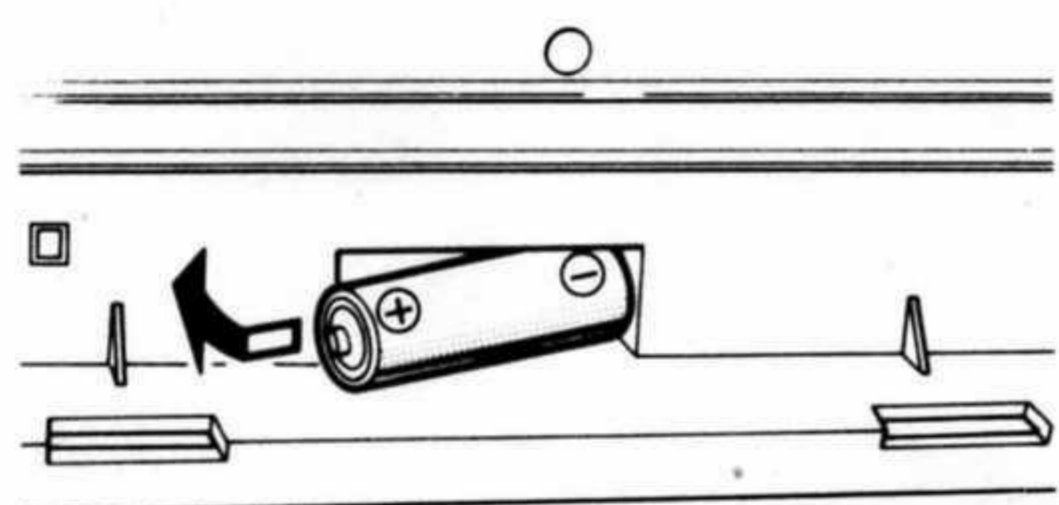
### ① 電池のふたをあける。

矢印方向におしながらあける。

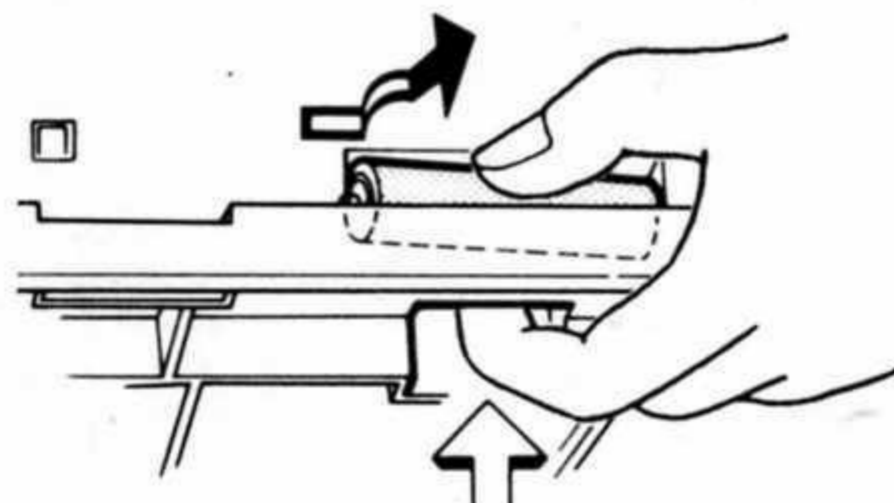


### ② 単三乾電池を入れる。

マイナス(-)側から先にいれます。



取り出すときは

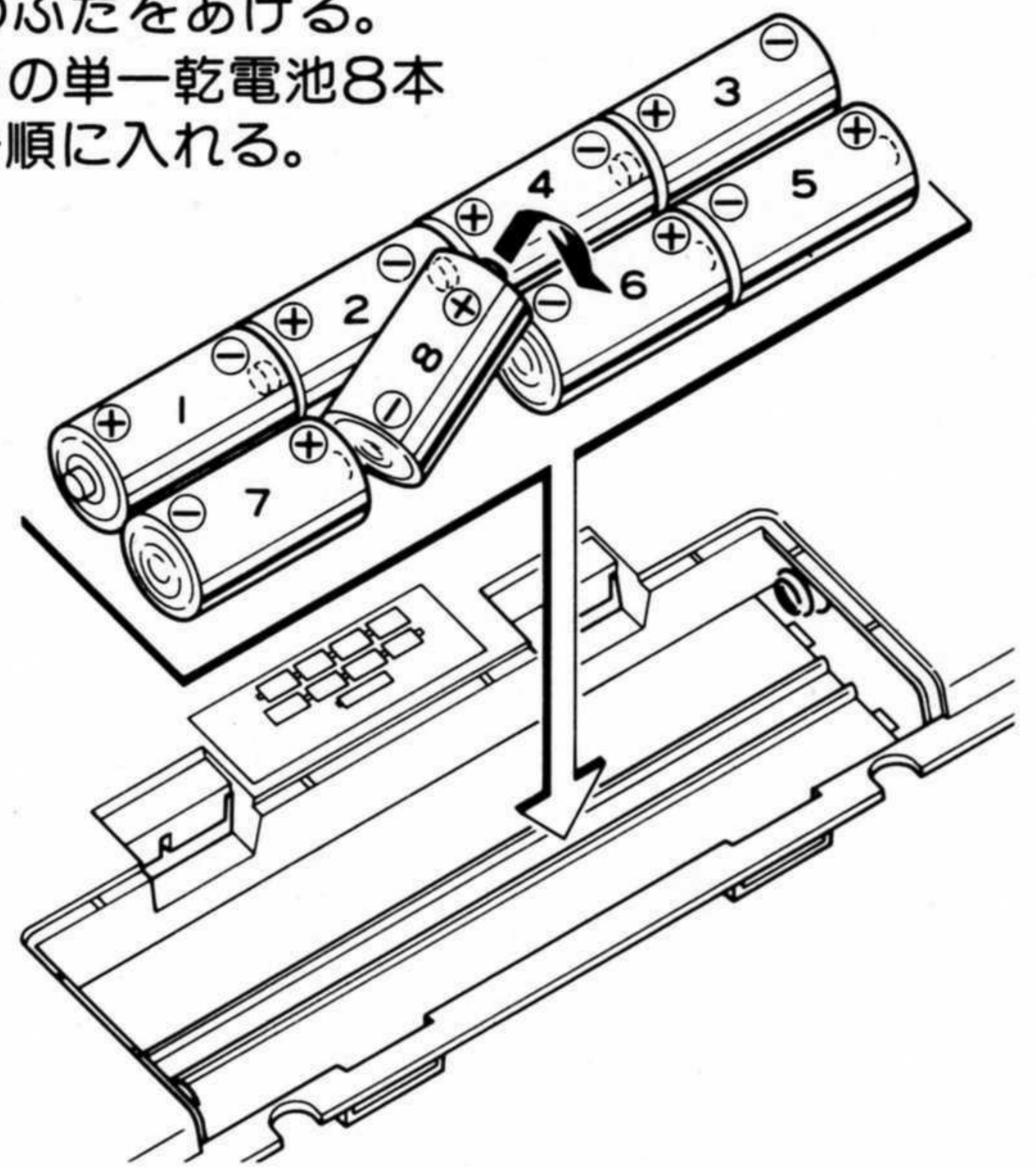


電池を押す

### ③ 電池のふたを元どおりにしめる。

## C. 乾電池で使うには

- ① 電池のふたをあける。
- ② 別売りの単一乾電池8本を番号順に入れる。



### ③ 電池のふたを元どおりにしめる。

- 長時間使用しないときは乾電池の液もれによるセットの故障を防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。

### ご 注 意

電源コードが AC IN 端子に接続されていると乾電池では動作しません。

### ■ 電池を交換する目安

CDの演奏音が途切れたりテープの再生音がふられたりするときは全部新しい電池と交換してください。

大切な録音のときは、念のため新しい電池に交換してからお使いください。また、タイマー/クロック用乾電池は単三乾電池(UM-3)で約1年間お使いになれますが、時刻表示が見えにくくなったり、時刻表示が正確でもCDタイマー動作をしなくなったときには、新しい電池と交換してください。

## 乾電池について

乾電池の誤った使い方は「破れつ」や「液もれ」を招くことがあります。上手に使って長持ちさせましょう。

### ● 使用上の注意

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを本機の表示通り正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますから種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。

4. 電池には充電式と充電式でないものがあります。なお、乾電池の注意表示もよく見てご使用ください。

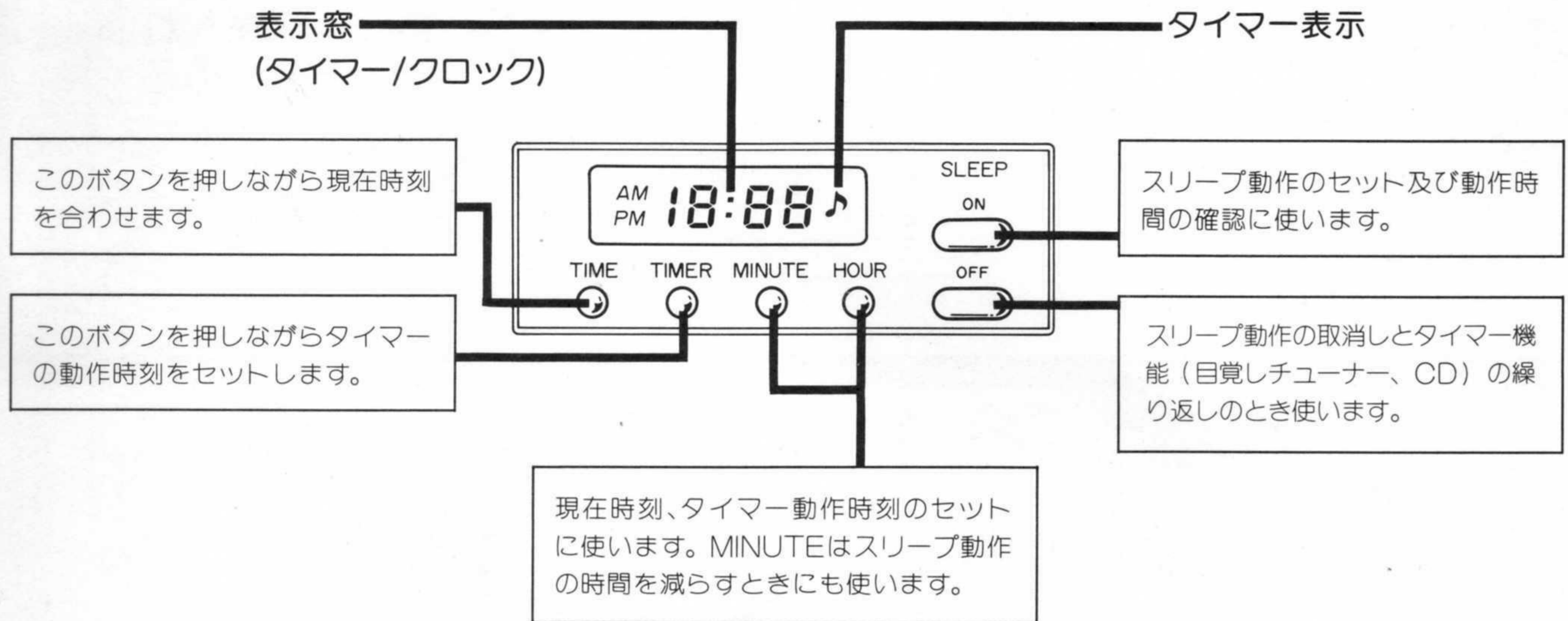
### ● 上手に使用するには

乾電池は、続けて使うよりときどき休ませた方が長く使えます。また、寒い所より暖かい所の方が長持ちします。



# 時計を合わせる

## ■ タイマー/クロック操作部の各部の働き

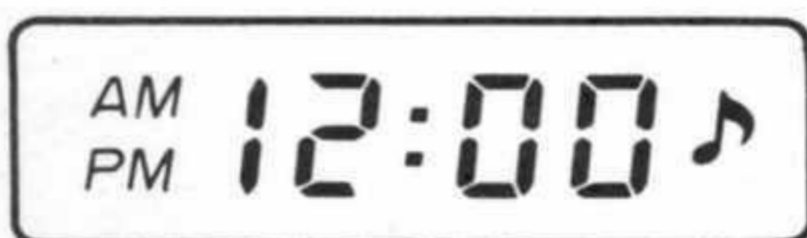


## ■ 現在時刻の合わせかた

- タイマー/クロック動作用には単三乾電池が必要です。あらかじめ電池ケース内にセットしておいてください。(8ページ参照)

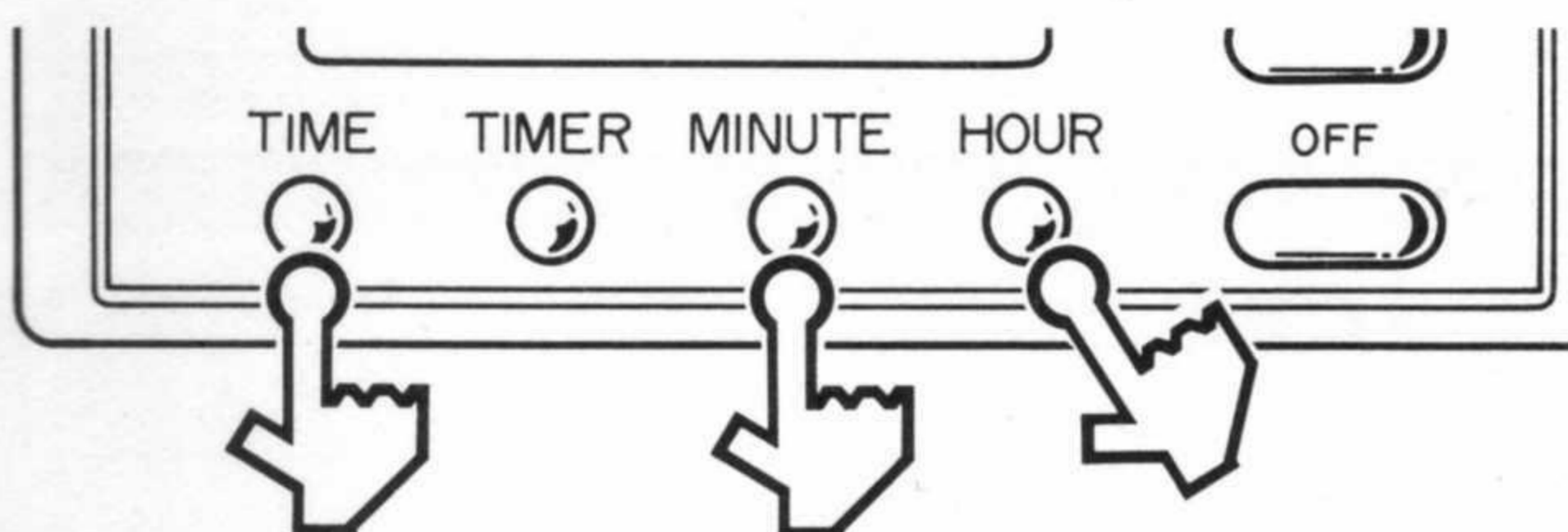
- 「時・分」を合わせるには・・・

1. 単三乾電池を入れる。



・表示窓に AM 12:00 が表示されます。

2. 「時・分」を合わせる。



- ① 押しながら・・・ ③ 押す・・・ 「分」合わせ  
② 押す・・・ 「時」合わせ

押すごとに「時」表示は1時間ずつ、「分」表示は1分ずつ進む。

「AM」(午前) と「PM」(午後) は「時」表示が 11 → 12 に変わると同時に交互に表示されます。(昼の12時をPM12:00と表示)

- 秒まで正確に合わせるには・・・

ラジオやテレビの時報をお使いになると便利です。時報に合わせ、TIME ボタンを押しながらMINUTEボタンを押すと0秒合わせができます。

### 知っているると便利

時刻表示はPOWERスイッチに関係なく、単三乾電池が入っていれば表示されます。